

コンポスト容器の使い方（例）

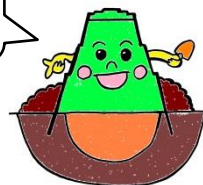
1. コンポスト容器を設置しましょう

日当たり、水はけ、風通しの良い場所に設置して下さい。

50cm くらい土を掘り、容器を 10cm 程度地中に埋め、容器のまわりに掘った時に
出た土をかぶせて固定します。

※掘る深さは 50cm くらいが目安ですが、より深く掘ると生ごみをたくさん処理できるので効果的です。

10cm くらい
埋めてね



2. よく水切りをしてから生ごみを投入しましょう

よく水切りをしてから生ごみを投入します。

水分が多いと温度が上昇せず、分解が遅くなったり、臭いが出ることがあります。

また、生ごみを細かく刻んでから入れると、空気に触れやすくなるため早く分解し
ます。

よく水切りして
入れてね



3. 土をかぶせましょう

生ごみを投入したら、その上に乾燥した土をかぶせます。これを繰り返し、

サンドイッチ状にしていきます。土をかぶせることにより、水分調整、

悪臭の防止、発酵促進、虫の発生の防止などの効果があります。また、枯葉や枯れ草
を入れると、葉の表面にいる微生物の働きにより分解が進んだり、水分調整に役立つ
ので効果的です。

生ごみの上から
土をかぶせてね



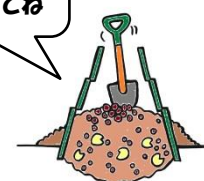
4. 時々かき混ぜましょう

土の中にいる微生物等の働きにより、生ごみが分解して、たい肥化が進みます。

時々容器の中身をかき混ぜて、空気を送り込んでください。よく攪拌することにより
温度が上昇し、生ごみの分解が進みます。

※発酵を促進させたり、虫の発生を抑える効果のある発酵促進剤が市販されています
ので、必要に応じて使用してください。

時々かき混ぜて
空気を送ってね



5. 容器一杯になったら寝かせましょう

中身が一杯になったら容器を上を向き引き上げ、土やビニール等をかぶせて、
たい肥化するまで寝かせておきます。

コンポスト容器を2基設置して、交互に使用すると効率よくたい肥を使うこと
ができます。

※コンポスト容器については、1世帯につき2基まで助成の対象となります。

寝かせたら
堆肥の完成です



6. たい肥の完成です

できたたい肥は、花壇や家庭菜園などでご利用ください。

7. 注意してください

コンポスト容器には、微生物が分解できないものは入れないでください。

入れられるもの 台所から出る生ごみ、落ち葉、乾燥させた雑草等の有機物

入れられないもの 腐敗したもの、ビニール、プラスチック類、薬品等

